

HINO

REPORT

2011年4月1日から2011年9月30日まで



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては平素より当社の事業活動にご理解、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

東日本大震災の復興に向け、今後もグループ一丸となりお役に立てるよう努力を続けて参ります。

震災により、当社の事業活動も部品供給制約、電力供給制約等で大きな影響を受けましたが、被災地復興のため、又世界中でお待ちいただいているお客様のため、一日も早く、一台でも多くのトラック・バスをお届けすることが商用車メーカーの使命であると認識し、グループを挙げていち早い生産正常化に取り組みました。

その結果、会社休日の変更等で夏季の節電への対応を行いながらも、昨年を上回る生産、販売を達成できました。

その中で、本年7月には国内で12年ぶりにモデルチェンジした小型トラック「日野デュトロ」を発売しました。特に新世代のハイブリッドシステムを搭載した、「日野デュトロハイブリッド」は、大幅な燃費向上を実現し、ご好評をいただいております。この小型トラックはグローバル戦略車として順次海外市場にも投入してまいります。

上期の業績としては、材料市況高騰や円高の影響を受け、前年同期に比べ減収減益となりましたが、販売台数増加や原価改善等の努力により、当期純利益は黒字を確保することができました。

下期にむけては、円高の進行や材料市況の更なる高騰が予想される上、欧米の経済不安に加え、当社グループのアジアにおける生産拠点のひとつであるタイでの洪水被害の拡大などの懸念材料もあり、厳しい経営をせまられることが想定されますが、アジア新興国を中心とした好調な需要と本格的な震災復興需要に比べると共に、コストの低減により収益改善に努めてまいります。

尚、第2四半期末末配当につきましては、1株につき3円の配当を実施させていただきます。

株主の皆様におかれましては、引き続き変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日野自動車株式会社
代表取締役社長 兼 執行役員

白井 芳夫



当期のトピックス

日野デュトロ12年ぶりにフルモデルチェンジ

小型トラック「日野デュトロ」を12年ぶりにフルモデルチェンジし、商品力を大幅にアップして新発売。平成22年排出ガス規制（ポスト新長期規制）に適合させ、平成27年度燃費基準達成車の設定も拡大しました。新型「日野デュトロ ハイブリッド」は新世代のハイブリッドシステムを搭載、ディーゼル車比50%もの大幅な燃費向上を実現しています。

テレビコマーシャルにはタレントの柳沢慎吾、新山千春、佐々木蔵之介などを実際の親子で起用。また中村雅俊の歌うイメージソングも話題を呼びました。



日野デュトロ

日野デュトロ ハイブリッド無償貸与で復興支援を

日野は、東日本大震災の復興支援の一環として、岩手県、宮城県、福島県、茨城県の被災自治体を対象に、小型トラック「日野デュトロ ハイブリッド」58台を1年間無償貸与します。貸与先では運行にかかる燃料費のみを負担していただきますが、大幅な燃費向上を実現した「日野デュトロ ハイブリッド」は、被災地の復興作業の中で、燃料コストの低減という面でもお役に立てると思っております。

ポスト新長期規制適合車出揃う

日野は、中型トラック「日野レンジャー」、小型トラック「日野デュトロ」、中型バス「日野メルファ」、小型バス「日野ポンチョ」、「日野リエッセII」を改良し、ポスト新長期排出ガス規制に適合させて発売しました。

日野のポスト新長期規制適合車に搭載した「AIR LOOP（エアルーブ）」はきれいな空気（AIR）の循環（LOOP）を目指し、NOx・PMの低減はもちろんCO₂排出量すなわち燃費も低減し、ランニングコストを抑えることでお客様の利益向上とともに、地球環境への負荷低減に貢献できるクリーンディーゼルシステムです。



日野レンジャー



日野メルファ



日野ポンチョ



日野リエッセII

電力供給不足対応のため、節電に協力

日野は、東日本大震災に伴う夏季期間の電力供給不足対応のため、日本自動車工業会が決定した方針に社を挙げて協力し、7～9月の3カ月間、全工場および本社において、休日を木曜日・金曜日に変更しました。この休日変更のほか、オフィス内の照明の間引きや空調効率の向上、断熱・遮熱対策など、節電のための各種取り組みを実施しました。

この結果、電力使用量を節減することができました。

2011年度第2四半期の 連結業績のご報告

ポイント

- 東日本大震災からの早期の生産正常化、新型デュトロの効果及び販売努力により、日野ブランド車増販。
- 採算改善・原価低減活動に努めるも、材料費の高騰・為替円高等により、営業利益は減益。
震災による災害損失を計上するも、四半期純利益は黒字を確保。

売上・損益の状況		売上台数	
売上高	5,757億円	国内	16,042台
営業利益	149億円	海外	38,231台
四半期純利益	6億円	トヨタ向け	63,174台

当期の概況

当第2四半期(6か月)における国内普通トラック(大型・中型トラック)市場につきましては、東日本大震災による影響等により、総需要は24千台と前年同四半期に比べ2千台(△9.1%)減少いたしました。また、小型トラック市場におきましては、総需要は27千台とほぼ前年同四半期並みとなりました。

国内売上台数につきましては、前述の震災に伴い生産工場の稼働低下が続いておりましたが、6月に生産を正常化することができ、また、7月に発売した新型デュトロ(小型トラック)の効果等によりトラック・バス総合計で16千台と前年同四半期に比べ3千台(23.7%)増加いたしました。

海外市場につきましては、インドネシアをはじめ、アジアでの売上が堅調であったため、売上台数は38千台とほぼ前年同四半期並みになりました。

以上により、日野ブランド事業のトラック・バスの総売上台数は54千台となり、前年同四半期に比べ4千台(7.0%)増加いたしました。

また、トヨタ向け車両台数につきましては、主に「ランドクルーザープラド」の台数が減少した結果、総売上台数は63千台と前年同四半期に比べ17千台(△21.6%)減少いたしました。

以上により、売上高は5,756億68百万円と前年同四半期に比べ300億33百万円(△5.0%)の減収となりました。損益面におきましては、採算改善・原価低減活動に努めましたが、材料費の高騰・為替円高等により営業利益は149億12百万円(前年同四半期に比べ15億5百万円の減益)、経常利益は123億89百万円(同10億98百万の減益)となりました。また、東日本大震災による災害損失(生産休止中の固定費等)を特別損失に61億円計上したこと等により、四半期純利益は5億94百万円(同52億50百万円の減益)となりました。

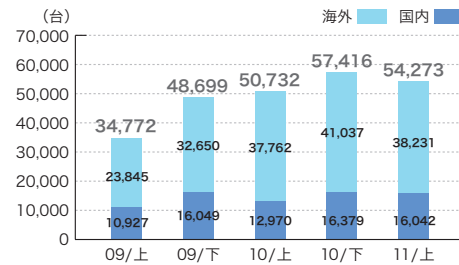
連結貸借対照表

(百万円)

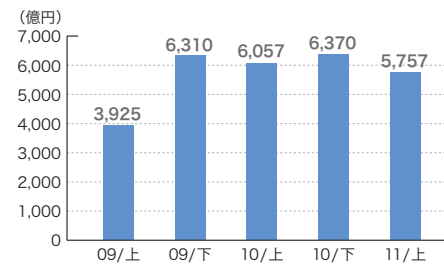
科目	当第2四半期末 (2011年9月30日)	前期末 (2011年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	356,227	328,901
現金及び預金	20,926	33,929
受取手形及び売掛金	207,440	185,809
商品及び製品	60,600	48,400
仕掛品	24,542	26,169
原材料及び貯蔵品	23,108	19,952
その他	22,470	17,550
貸倒引当金	△2,861	△2,909
固定資産	381,063	393,243
有形固定資産	285,592	295,371
建物及び構築物	87,929	88,999
機械装置及び運搬具	76,977	77,790
土地	90,112	90,363
その他	30,573	38,217
無形固定資産	16,715	18,078
投資その他の資産	78,755	79,793
投資有価証券	64,553	65,946
その他	19,037	18,889
貸倒引当金	△4,834	△5,042
資産合計	737,291	722,145

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

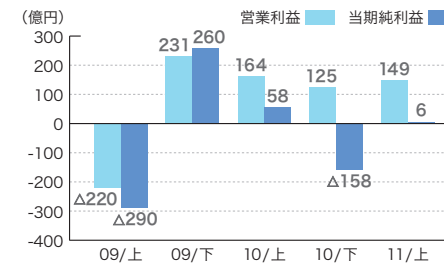
トラック・バス売上台数



連結売上高



営業利益・当期純利益



(百万円)

科目	当第2四半期末 (2011年9月30日)	前期末 (2011年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	396,657	347,151
支払手形及び買掛金	189,337	164,268
短期借入金	77,902	68,239
コマーシャル・ペーパー	30,000	—
1年内返済予定の長期借入金	31,035	42,997
未払法人税等	3,715	4,189
製品保証引当金	13,946	12,452
その他の引当金	3,933	4,187
その他	46,786	50,817
固定負債	130,180	158,554
長期借入金	50,501	77,277
退職給付引当金	43,717	43,019
その他の引当金	1,571	1,880
その他	34,389	36,377
負債合計	526,837	505,706
(純資産の部)		
株主資本	187,859	188,975
資本金	72,717	72,717
資本剰余金	64,328	64,327
利益剰余金	52,473	53,589
自己株式	△1,659	△1,658
その他の包括利益累計額	△626	2,936
新株予約権	342	276
少数株主持分	22,878	24,249
純資産合計	210,453	216,438
負債純資産合計	737,291	722,145

連結損益計算書

(百万円)

科目	当第2四半期 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	前第2四半期 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)
売上高	575,668	605,701
売上原価	493,173	521,932
売上総利益	82,494	83,769
販売費及び一般管理費	67,582	67,351
営業利益	14,912	16,417
営業外収益	2,959	2,550
営業外費用	5,482	5,480
経常利益	12,389	13,488
特別利益	203	674
特別損失	6,582	1,654
税金等調整前四半期純利益	6,010	12,507
法人税等	3,434	4,470
少数株主損益調整前四半期純利益	2,576	8,037
少数株主利益	1,982	2,192
四半期純利益	594	5,844

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科目	当第2四半期 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	前第2四半期 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	8,866	37,244
投資活動による キャッシュ・フロー	△20,649	△13,737
財務活動による キャッシュ・フロー	△440	△32,358
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△795	△619
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△13,019	△9,470
現金及び現金同等物の 期首残高	34,150	30,380
現金及び現金同等物の 四半期末残高	21,131	20,910

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

会社概要

日野自動車株式会社 HINO MOTORS, LTD.		
創業	1910年(明治43年)	
設立	1942年(昭和17年)5月1日	
資本金	72,717,284,641円	
主要な事業所 および工場	本社・日野工場	〒191-8660 東京都日野市日野台3丁目1番地1 電話(042)586-5111
	羽村工場	〒205-8660 東京都羽村市緑ヶ丘3丁目1番地1 電話(042)579-0411
	新田工場	〒370-0344 群馬県太田市新田早川町10番地1 電話(0276)56-5111
	田町事務所	〒108-0014 東京都港区芝4丁目11番3号 電話(03)3456-8811
	茨城テストコース	〒311-4613 茨城県常陸大宮市長倉2023番地 電話(0295)55-3122
	北海道芽室 テストコース	〒082-0382 北海道河西郡芽室町雄馬別14線26番地1 電話(0155)66-2511
	日高配車センター	〒350-1234 埼玉県日高市上鹿山689番地1 電話(0429)85-4747
青梅部品センター	〒198-0025 東京都青梅市末広町1丁目5番1号 電話(0428)32-9911	

株式の状況

(2011年9月30日現在)

発行済株式の総数	574,580,850株	
株主数	13,843名(前期末比511名減)	
大株主(上位10名)	持株数(千株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	287,897	50.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,472	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	25,420	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井信託銀行退職給付信託口)	10,031	1.8
東京海上日動火災保険株式会社	6,104	1.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	5,654	1.0
株式会社竹中工務店	5,562	1.0
株式会社永坂産業	4,255	0.7
日清紡ホールディングス株式会社	4,209	0.7
株式会社デンソー	4,013	0.7

(注)1. 当社は自己株式を4,555千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

(※は、執行役員を兼務)

株主メモ

決算期	3月31日	定時株主総会	毎年6月
株主確定日	期末配当金 3月31日、 中間配当金 9月30日		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
株式に関する手数料	単元未満株式買取手数料 無料		
公告方法	以下の当社ウェブサイトにて電子公告により行います。 http://www.hino.co.jp/j/corporate/ir/koukoku/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。		
上場取引所	東京、名古屋各証券取引所	証券コード	7205
1単元の株式数	1,000株		
ウェブサイト	http://www.hino.co.jp/		

株式に関するお手続きの窓口について

◇特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○特別口座から証券会社等の口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定※	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-711(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00～17:00) ※三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	(手続書類のご請求方法) 電話およびインターネットにより24時間承っております。 ○音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479 ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

※ 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

◇証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-711(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00～17:00)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

取締役・監査役

(2011年9月30日現在)

代表取締役会長	岡本 一雄	* 専務取締役	岡崎 清英	常勤監査役	渡 春樹
* 代表取締役社長	白井 芳夫	* 専務取締役	和具 健治	常勤監査役	倉山 裕治
* 取締役副社長	市川 正和	* 専務取締役	山本 章正	監査役	辻井 昭雄
* 取締役副社長	井上 俊紀	* 専務取締役	谷川 康夫	監査役	石坂 芳男
		* 専務取締役	尾島 孝一	監査役	池淵 浩介
		* 専務取締役	鈴木 賢二		
		* 専務取締役	前田 義秀		

日野自動車株式会社



このレポートは、再生紙、植物性大豆油インキを使用し、ISO14001 取得工場で印刷しています。